

愛を摘みにいこう……



1920年代、半島の寒村ヨンダム——
数葉の愛をつむぐ、人妻アンヒョプの哀しくも滑稽で、たくましい女の性。
桑の葉…それは自由を求める女と男の暗号。

桑の葉

くわのは
P O N G

1986年度 韓国百想芸術大賞・監督賞

1986年度 アジア太平洋映画祭主演女優賞

1986年度 映評賞主演女優賞・主演男優賞受賞

製作/イ・テウオン(李泰元)◆監督/イ・ドゥヨン(李斗鍾)

原作/ナドヒャン(羅福香)◆脚本/ユン・サムニョク(尹三六)

撮影/ソン・ヒョンチュ(孫炫塚)◆音楽/チェ・チャングオン(崔彰權)

出演/イ・ミスク(李美淑)◆イ・テグン(李大根)

イムジョン(李武正)◆ナ・ジョンオク(羅貞玉)

〈韓国映画〉◆製作/泰興映画◆提供/アジア映画社◆配給/アルバトロス・フィルム

桑の葉

くわのは



提供：アジア映画社 ■ 配給：アルパトロス・フィルム

哀しくもたくましい女の性を大胆に描く ニューウェーブ韓国シネマの傑作!

いまアジア映画が世界中から熱い注目を浴びているが、なかでもとりわけめざましい躍進をとげているのが韓国映画だ。映画法の改正と大胆なエロティシズム描写により、個性的な作品が次々と世に送り出されている。

この「桑の葉」は、ベネチア映画祭監督賞(『避暑』)、カンヌ映画祭、韓国最大の映画祭である大鐘賞などを受賞し、内外に広く知られている韓国映画の巨匠イ・ドゥヨンが85年に発表したもの。公開と同時に大きな反響を呼び、86年度韓国百想芸術大賞で監督賞を受賞したほか、87年に東京で開かれたアジア太平洋秀作映画祭でも高い評価を受けた。

原タイトルの PONG とは蚕の餌にする桑の葉のこと。これは韓国人にとってはふたつの象徴的な意味をあらわしている。ひとつは恋人やレジスタンスの同志のあいだでの密会の暗号。もうひとつはシルク特有の天然の美しさと強さを韓国民衆のたくましい精神の象徴としてとらえることである。映画は、1920年代の朝鮮半島にある寒村を舞台に、ひとりの若く美しい人妻アンヒョプの哀しくも滑稽でたくましい女の性を、韓国土着の風俗のなかにバイタリティーあふれる痛快なタッチで描き切っている。



人気女優イ・ミスクのむせかえるような色気に話題騒然!!

村の男たちと次々に関係を結びながらも、どこか天真爛漫としたところのあるヒロイン、アンヒョプに扮するのは韓国のナンバーワン女優イ・ミスク。全篇にわたってむせかえるような色気を発散させるとともに、女のしたたかさと哀れさをただよわせた見事な演技を披露、この作品で86年映評賞および86年アジア太平洋映画祭主演女優賞を手に入れている。「桑の葉」は彼女の名演なくしては成立しなかった作品といっても決して過言ではない。ま



た彼女に言い寄る間男サムドルを演じるのは名優イ・デグン。ほかにアクション・スター出身のイ・ムジョンらが出演している。

監督のイ・ドゥヨンは69年、27才の時に『失われたウェディング・ベール』で監督デビュー。以後娯楽作から芸術作まであらゆる幅広いジャンルを演出し、韓国映画史に名を残す大監督となった。彼の作品に貫して流れるテーマはハン(恨)精神であるといわれており、本作ではこのハン精神がシルクの強さに置きかえられ、言いようのない哀しみと底抜けの楽天性を見事につむぎあわせている。原作は、韓国の有名な作家ナ・ドヒヤンの短篇小説。撮影を『草墳』『避暑』のソン・ヒョンチュ、民族楽器、〈大琴〉の音が印象的な音楽を『草墳』『業』のチェ・チャングオンがそれぞれ担当している。

愛を摘みにいく女アンヒョプを待ちうける運命とは——!

1920年代の中頃。朝鮮半島は日本軍の支配下にあったが、半島の山奥にある寒村ヨンダムでは、人々は貧困にあえぎながらも楽しく平和な日々をおくっていた。この男たちの憧れの的は、村一番の美女アンヒョプだ。彼女には賭博好きの夫サムボがいるが、彼は年に3〜4回家に戻ってくるだけでアンヒョプからお金をまき上げるとすぐに出て行ってしまう。いつも満たされない思いを味わうはめになるアンヒョプ。彼女も決して楽な生活をおくっているわけではなかった。

そんなある日、彼女は隣のおばさんから高い収入になる養蚕のための桑の葉の収穫を頼まれる。毎日薄物の服をまとい桑の葉を摘んでいくアンヒョプは少ない収入を補おうと、いつしか自分に熱いまなざしを注ぐ男たちと関係を結んでいく。しかしこのことは村の女たちの知るところとなり、彼女は女たちから激しい暴行を受け、あやうく村から追放されそうになる。その程度のことでひるむアンヒョプではなかったものの、ついに決定的な事件が起ころうとした。彼女に相手にされない若者サムドルが帰ってきた夫のサムボに、留守中に彼女が村の男たちと関係をもったことを話してしまったのだ……。

(上映時間：1 時間54分)



〈スタッフ〉

製作……………イ・チュウォン(李泰元)
監督……………イ・ドゥヨン(李斗備)
原作……………ナ・ドヒヤン(羅福香)
脚本……………ユン・サムニョク(尹三六)
撮影……………ソン・ヒョンチュ(孫炫埰)
音楽……………チェ・チャングオン(崔彰権)

〈キャスト〉

アンヒョプ……………イ・ミスク(李美淑)
サムドル……………イ・デグン(李大根)
サムボ……………イ・ムジョン(李武正)



10月20日^土ロードショー

特別鑑賞券〈一般¥1300/学生¥1100〉発売中!

KINEMATOGRAPH
中野武蔵野ホール

JR中野駅北口・サンモール街 ☎03(389)3301

上映時間 連日 12:00 2:15 4:30 6:45